

授業科目	* 初年次セミナーⅡ				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	EN10202J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	塚本 美紀、太田 かおり							
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーⅠおよびⅡで構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。</p> <p>初年次セミナーⅡでは、初年次セミナーⅠの学びを基礎として、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズ『発表する』『討論する』を強化し、より一層、主体的かつ能動的学習を展開する。『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化ならびに定着を図り、さらにプレゼンテーションに発展させる。また、グループ内での討論を通して、物事を多面的・多角的に捉えて思考する力を身につけ、それらの考えを相手に伝える力を身につける。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』をさらに鍛錬・強化し、『発表する』『討論する』に展開できる。(DP1-1) 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) 3. 他者の考えと自分の考えを比較し、物事を多面的、多角的に捉えることができる。(DP3-1) 4. グループ学習において、自らの役割を自覚し、責任をもって協同行動ができる。(DP3-1) 5. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) 6. 学習成果を相手に分かりやすく伝えることができる。(DP5-1) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	40	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			30	20			50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				10	15		25	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				5	15		20	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				5			5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
大学での授業はもちろん、講演会やインターンシップ先、及び将来の就職先において、人の意見を的確に聞き取り、メモを取れるスキルを身につける。併せて、自らの考えを論理的に文章にまとめ、レポートや報告書の作成ができるようになる。				大学での授業で、効果的なノート取りができるようになり、自らの意見を発表する際にも、論理的に説明ができたり、文章で表現することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	初年次セミナー I から初年次セミナー II に向けて (新谷恭明)	合同講義	復習として、学んだことをまとめる。	60
2	研究倫理 (研究倫理委員)	合同講義	復習として、学んだことをまとめる。	60
3	授業をノートする(太田かおり) テキスト中心型授業、テキスト非中心型授業、パワーポイントのスライドをノートする方法を学ぶ。	講義・演習	予習として講義予定の章を読んでおく。	60
4	テキストをノートする(太田かおり) 文章の型(構造)、効果的なテキストの読み方について学ぶ。また、文章を読んで、実際にノートにまとめることによって、効果的なノートの作り方を身につける。	講義・演習	予習として講義予定の章を読んでおく。	60
5	レポートの構造 (1)(太田かおり) 何を目標として文章を書くのかを学ぶため、例として提示された二つのレポートの良い点、悪い点を明らかにする。	講義・演習	予習として講義予定の章を読んでおく。	60
6	レポートの構造 (2)(太田かおり) 自分の意見を論理的に述べる方法について学ぶ。また、サンプル論文を読んで、文章の構成を分析する。	講義・演習	予習として講義予定の章を読んでおく。	60
7	文章の原理原則(太田かおり) サンプルの自己 PR 文を分析し、主張を述べることと根拠を述べることについて学ぶ。	講義・演習	予習として講義予定の章を読んでおく。	60
8	主張と根拠の関係性(太田かおり) 主張と根拠の因果関係について学ぶ。また、一つの主張とそれについての根拠を三つあげ、実際に自己 PR の文章を作成する。	講義・演習	予習として講義予定の章を読んでおく。	60
9	レポートを書く前に(塚本美紀) レポートを書く際に必要な問いの立て方(問題提起)について学ぶ。	講義・演習	予習として、テキスト13日目 主張と根拠の関係性—因果関係があるか?—を読んでおく	90
10	3部構成で書く(塚本美紀) 3部構成(序論・本論・結論)によるレポートのまとめ方を学ぶ。	講義・演習	予習として、テキスト p.96 をもう一度読んでおく	90
11	添削課題(塚本美紀) これまでレポートの書き方について学修したことに基 づいて、添削課題に取り組む。	講義・演習	予習として、テキスト pp.101-103 で自分がまとめた 内容を読んでおく	90
12	グループプレゼンテーションに向けての話し合い(塚 本美紀) グループ編成を行い、各グループでテーマを決定し、 パワーポイントを作成する。	演習	復習として、プレゼンの準備 のためにパワーポイントを完 成させる	90
13	グループプレゼンテーション(1)(塚本美紀) 前半のグループがプレゼンテーションを行う。	発表・統括	予習復習として、プレゼンの 準備や振り返りをする	90
14	グループプレゼンテーション(2)(塚本美紀) 後半のグループがプレゼンテーションを行う。	発表・統括	予習復習として、プレゼンの 準備や振り返りをする	90
15	今までのまとめ(塚本美紀) グループプレゼンテーションの振り返りを行い、添削 課題についての講評とやり直しを行う。	発表・演習・統括・ 授業アンケート	今までの総復習をする	90
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	前期で履修した初年次セミナーIで学んだことを身につけていること。			
テキスト	大学生・短大生のための大学での学び方(旺文社) 前期に引き続き使用			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて授業で紹介することがある。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この授業は、他の授業の効果的な受講の仕方や、就職活動の準備、ひいては社会人になってからの報告書作成などにも通じる、学び方の勉強である。単位取得のためだけでなく、自らのスキル向上を目指して取り組んで欲しい。			
達成度評価に関するコメント	遅刻・欠席は評価に影響します。 クラスでの発表や意見交換には積極的に参加して下さい。			